

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(1) 乳幼児			
施策の方向性	<p>親子で読書を楽しむことで、語彙力や想像力、集中力を養うとともに親子のコミュニケーションを深めます。そのために家庭での読書や読み聞かせの大切さについて保護者へ啓発を行い、親子での読書活動の推進を図ります。また、図書館及び地域貸出文庫等で、絵本の読み聞かせや貸出を行います。</p> <p>共働き世帯が増加し、保護者と一緒に読書をするのが難しい乳幼児に対しても、保育所(園)・幼稚園等において読み聞かせを実施し、全ての子どもが本に出会う機会を提供します。</p>			
主な取組	①絵本の紹介と保護者への啓発			
	②読み聞かせの実施			
	③絵本の貸出の実施			
成果指標	家庭での読み聞かせ実施率	策定時点	目標値(R9)	
		86.7%	90.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	「Babyぱらら」「こぱらら」の発行	年間発行回数	12回	12回
	ブックスタート事業	年間実施回数	130回	132回
	図書館での対象年齢に応じたおはなし会	年間実施回数	216回	80回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①絵本の紹介と保護者への啓発		達成状況	
	<p>◆0～2歳の赤ちゃん及びその保護者を対象に本を紹介する「Babyぱらら」並びに幼児～小学生を対象に本を紹介する「こぱらら」を発行した。今後はより魅力的な紙面となるようにデザインを検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆絵本特集コーナーで、テーマを変えながらおすすめ絵本の紹介を行った。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆マタニティクラス、すくすく子育て教室及び親子サロンにおいて絵本の紹介を行った。(こども家庭センター、こども・若者政策課)</p>		②期待どおり	
	②読み聞かせの推進		達成状況	
	<p>◆読み聞かせを行い、赤ちゃんがいる家庭に絵本とバッグをプレゼントするブックスタートを実施し、その後のアンケートで「以前より子どもと絵本を楽しむ時間を持つようになった」と回答した人の割合が78%と高水準であった。保護者への啓発に繋がっているので、今後は参加率の向上策を検討する。(こども・若者政策課)</p> <p>◆定例のおはなし会、季節のスペシャルおはなし会を合わせて、赤ちゃん向けを109回、幼児～小学生向けを107回実施した。今後もより多くの親子に参加してもらえるように、広報や内容</p>		②期待どおり	

	<p>を検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆28区中22区の地域貸出文庫、子育て支援事業(絵本ライブラリー、ぞうさんひろば及び子育て応援・親子サロン事業)、子ども療育支援センター、保育所(園)及び幼稚園等において読み聞かせを実施した。(こども・若者政策課、こども家庭センター、子育て支援課)</p>	
	③絵本の貸出の実施	達成状況
	<p>◆乳幼児連れの保護者等多様な利用者が気兼ねなく図書館を利用できるように、他の利用者に温かく見守るよう呼びかける「キッズタイム事業」を令和6年度に実施するため、事業内容を検討した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆保育所(園)や幼稚園等での絵本の貸出について、令和5年度の貸出を実施した園の数は微増したが、全園の半数程度にとどまったため、園の状況にあわせて、貸出しの拡大を図っていく。(子育て支援課)</p> <p>◆子どもや保護者がアクセスしやすい施設に図書を設置した。今後は図書の更新等を行う。(こども・若者政策課、子育て支援課、教育振興課)</p>	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。	
検討が 必要な事項	◆なし	
A 改善		
改善結果		

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(2) 小・中学生			
施策の方向性	<p>小学生は読書のきっかけづくりや読書の習慣の基礎をつくる重要な時期です。中学生になると、感動や共感を得たり、将来に役立つ本等を選んで読んだりするようになる一方で、読む子どもと読まない子どもの二極化が著しくなります。そのため、学齢が上がっても読書に対する興味・関心を持ち続けることができるように、子どもの主体的な活動や子どもたち同士で読書意欲を高め合う取組を行います。</p> <p>また、家庭、地域、図書館、学校等、社会全体で読書活動を広げていくことができるよう、保護者への啓発及び家庭・学校以外の身近な場所でも子どもたちが読書に親しめる取組を行います。</p>			
主な取組	①本の紹介		②読み聞かせ等の推進	
	③読書時間の確保		④読書活動の促進	
	⑤読書目標の設定		⑥調べ学習の促進	
	⑦保護者への啓発			
成果指標		策定時点	目標値(R9)	
	1か月の読書率 ・ 小学2年生	94.2%	98.0%	
	1か月の読書率 ・ 小学5年生	93.7%	98.0%	
	1か月の読書率 ・ 中学2年生	70.7%	75.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	小学生読書リーダーの養成	年間講座回数	基礎講座2回 交流会1回	基礎講座3回 交流会1回
	図書館利用案内とブックリストの配布	発行ジャンル数	4	4
	「自由研究ひらめきカード」の発行	発行ジャンル数	17	17
主な取組の実施状況及び今後の方針	①本の紹介		達成状況	
	<p>◆各学校の学校司書が主体となり、季節や時事に合わせた本のほか、テーマに沿った本、司書、読書ボランティア、図書委員等のおすすめの本などの展示やPOPの作成を行った。(教育振興課)</p> <p>◆「こぱらら」、「わいわいぱらら」を発行し、子どもたちに図書を紹介した。今後は秋の特別付録としていた学校司書の書評を読書週間の特別号として独立させ、子どもたちが読書をより身近に感じる誌面を作成する。(まどかぴあ図書館)</p>		②期待どおり	
	②読み聞かせ等の推進		達成状況	
	<p>◆学校やランドセルクラブにおいて、読書ボランティアと連携し、定期的に読み聞かせを行った。(教育振興課)</p> <p>◆おはなし会を107回開催し、幼児～小学生約1,700人の参加があったが、小学生の参加者が少なかった。今後は小学生が参加しやすくなる方法を検討する。(まどかぴあ図書館)</p>		②期待どおり	

<p>◆28 区のうち、22 区の地域貸出文庫において読み聞かせを実施した。</p>	
<p>③読書時間の確保</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆多くの学校が読書時間を定期的に設けたが、授業時間増加等の影響により読書に使える時間は年々減少傾向にある。今後は学校での読書環境を保ちつつ、図書館や家庭で個人としての読書時間を増やす取組を模索する。(教育振興課)</p> <p>◆「おはなし会」や校内放送など、学校の図書室の利用促進に向けて様々なイベントや呼びかけを実施した。(教育振興課)</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>④読書活動の促進</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆まどかぴあ図書館司書の指導のもと、小学生読書リーダーの養成に向けて基礎講座や実践活動を行った。コロナ禍以降、活動時間が短縮されており、読書リーダーの養成に必要な活動は確保した上で、その他の部分のスケジュールを見直す。(教育振興課)</p> <p>◆赤ちゃん、幼児、小学1～3年生向けのブックリストを配布するとともに、赤ちゃん向けをブックスタートでも配布した。小学4～6年生向けのブックリストがないため、今後作成する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校において、子ども読書の日及び読書週間等のイベント、ブックリスト並びに読書預金通帳を活用した取組を行った。今後は取組事例を学校間で共有できる場を設ける。(教育振興課)</p> <p>◆図書館子どもまつりでは「宮沢賢治」をテーマとしたクイズラリーやおはなし会などのイベントを開催した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆まどかフェスティバルなどの地域イベントのために大型絵本を貸出した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校において、司書や教諭のサポートのもと、児童生徒の企画・運営による読書活動を行った。(教育振興課)</p> <p>◆学校司書により、図書室の資料準備や選書を行うとともに、蔵書がない本についてはまどかぴあ図書館からの借入を行った。今後は他の学校や市外図書館との連携や電子書籍活用も検討する。(教育振興課)</p> <p>◆ヤングアダルトについての月1回の特集展示を行うとともに、Instagramで展示を周知した。展示場所が目立たないため、棚づくりを通じてその魅力を引き立てるよう工夫する。(まどかぴあ図書館)</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>⑤読書目標の設定</p>	<p>達成状況</p>
<p>◆学校において、「読書預金通帳」を活用し、児童生徒の読書量の増加を図った。量だけに焦っている子もいたことから、児童生徒の読書の質を高めるため、他の取組との併用を図る。(教</p>	<p>②期待どおり</p>

	育振興課)	
	⑥調べ学習の促進	達成状況
	<p>◆自由研究ひらめきカードを発行し、夏休み期間に活用された。今後もテーマを増やし、充実を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆小学校9校、中学校5校において新聞を配架したが、生徒の利用が少なかった。児童生徒が新聞に興味を持てるよう、特集コーナーの設置などの取組を行う。(教育振興課)</p> <p>◆調べ学習の支援として、資料収集や授業用資料の追加購入を行った。複数校からの同じ内容の貸出依頼があり、冊数調整をしたため、今後も調べ学習用の本を積極的に購入し、学校への貸出に備える。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり
	⑦保護者への啓発	達成状況
	◆学校において、図書館だよりを発行して児童生徒と保護者への啓発活動を行った。(教育振興課)	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆「読書時間の確保」の取組として、図書館や家庭で個人としての読書時間を増やす取組を模索するとの記載が進捗状況シートにあるが、内容をもう少し明確にすべきである。	
検討が 必要な事項	◆「読書時間の確保」の取組内容の具体的な検討	
A 改善		
改善結果	◆図書館や家庭で個人としての読書時間を増やすための具体的な取組を検討していく。	

P 計画の基本事項			
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進		
施策	(3) 高校生以上の学生		
施策の方向性	高校や大学等に通う学生時代は、将来や自分の人生について特に考えをめぐらせる時期であるとともに、読書から離れやすい時期でもあります。学生が読書に興味を持ち、必要な情報を得たり今後のライフスタイルの参考にできる本と出会うよう、積極的な情報発信及び支援を行います。また、学生の読書率を高めるため、読書の魅力を共有できる仲間との出会いをつくる取組を行います。		
主な取組	①本の紹介		
	②読書活動の促進		
	③調べ学習の促進		
成果指標	1か月の読書率	策定時点	目標値(R9)
		77.8%	80.0%
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)			
評価指標	重点事業	指標	実績(R5) 目標値(R5)
評価指標	おすすめ本や新着図書情報の提供	年間発信回数	7回 4回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①本の紹介		達成状況
	◆Instagramで特集案内と新刊おすすめの投稿を月1回行った。今後はコーナーの利用者増に向けてInstagramの投稿数を増やす。(まどかぴあ図書館) ◆筑紫中央高校に年4回、本の情報を発信するため「わいわいぱらら」を配布した。今後は中学生だけでなく高校生も意識した誌面を作成する。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり
	②読書活動の促進		達成状況
	◆職場体験、見学及び実習を受け入れた。今後も受入体制の充実を進める。(まどかぴあ図書館) ◆職場体験生を受け入れ、ヤングアダルトコーナーや「わいわいぱらら」のPRとボードゲーム体験を行った。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり
	③調べ学習の促進		達成状況
	◆筑紫中央高校の団体貸出登録を行うとともに、調べ学習に活用できる実用書の選書、購入を行った。今後は利用促進に向けて連携を進めるとともに、調べ学習に焦点を当てた選書を継続する。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり
C 評価			
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。		
検討が必要な事項	◆なし		
A 改善			



P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(4) 社会人			
施策の方向性	仕事や子育て等、ライフステージに応じて読書に親しめるよう、市民のニーズを把握し、様々な本との出会いの場を提供するとともに、日常生活における課題解決等に役立てられるよう支援します。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②生涯学習の促進			
成果指標	読書が好きな人の割合	策定時点	目標値(R9)	
		79.6%	82.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	パスファインダーの発行	発行したジャンル数	-	-
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「図書館へゆこう!!」でボードゲームイベントを開催した。集客が課題であるため、図書館のイベントに気軽に参加してもらえるよう周知方法を見直す。(まどかぴあ図書館)</li> <li>◆心のふるさと館のふるさとラボにおいて、蔵書検索サービスやスタッフの支援のもと、各種資料を閲覧に供するとともに、秋季特別展にテーマを合わせた図録を配架した。(心のふるさと館)</li> </ul>		②期待どおり	
	②生涯学習の促進		達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特定のテーマに関する文献・情報のリストや、調べ方の案内であるパスファインダーを令和7年度に発行できるように作成を進める。(まどかぴあ図書館)</li> <li>◆心のふるさと館のふるさとラボにおいて、各種資料を配架しており、蔵書検索サービスやスタッフの支援のもと、大野城市の歴史・文化について深く学べる環境を提供した。(心のふるさと館)</li> </ul>		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆心のふるさと館とまどかぴあ図書館が資料探索において連携するための仕組みづくりが必要であると思われる。</li> <li>◆まどかぴあ図書館のホームページに目的別の調べものに特化したページへのリンクを設置できないか検討してほしい。</li> </ul>			
検討が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆心のふるさと館とまどかぴあ図書館の資料探索における連携</li> <li>◆まどかぴあ図書館のホームページにおける目的別の調べものに特化したページへのリンクの設置</li> </ul>			
A 改善				
改善結果	◆令和7年度の図書館システム更新に合わせて、心のふるさと館と連携し、資料を検索しやすいホームページの構成を検討する。			

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(5) 高齢者			
施策の方向性	高齢者が本に親しむため、利用しやすい環境づくりやサポートに取り組むとともに、読書を通じた学びやボランティア活動等への参加を促進する取組を行います。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②生涯学習の促進			
成果指標	読書が好きな人の割合	策定時点	目標値(R9)	
		80.6%	83.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	はつらつセカンドライフコーナーの資料充実	年間受入冊数	182冊	150冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	◆はつらつセカンドライフコーナーの充実に向けて182冊の資料を購入した。今後はポジティブな内容の資料を意識して選書する。(まどかぴあ図書館) ◆「おとなのための1分音読」を地域カフェで紹介した。今後はまどかぴあ図書館において、新規の取組としてアルツハイマー月間(9月)に特集コーナーを設置する。(すこやか長寿課) ◆まどかぴあ図書館での電子図書館の使い方講座に8名の参加があった。事前予約はなく当日の集客に苦労したことから、今後は電子図書館の周知方法を見直す。		②期待どおり	
	②生涯学習の促進		達成状況	
	◆特定のテーマに関する文献・情報のリストや、調べ方の案内であるパスファインダーを令和7年度に発行できるように作成を進める。(まどかぴあ図書館) ◆心のふるさと館のふるさとラボにおいて、各種資料を配架しており、蔵書検索サービスやスタッフの支援のもと、大野城市の歴史・文化について深く学べる環境を提供した。(心のふるさと館) ◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」を配布するとともに、ホームページに掲載した。		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。			
検討が必要な事項	◆なし			
A 改善				
改善結果				

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(6) 全世代共通			
施策の方向性	市民の読書意欲を高めるため、市と図書館が連携し、これまでの広報活動に加え、インターネット及びSNSを活用した情報発信に取り組み、市民の主体的な読書を支援していきます。			
主な取組	①読書活動の促進			
	②本の紹介			
	③情報発信の強化			
成果指標	市民の図書館の新規利用登録者数	策定時点	目標値(R9)	
		1,458人	1,800人	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	レファレンスサービスの充実	データベース件数	116件	110件
	特集コーナーの充実	テーマ数	230件	150
	ホームページやSNS等を活用した情報発信	年間発信回数	187回	85回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①読書活動の促進		達成状況	
	◆レファレンスデータベースに事例を15件追加した。レファレンスデータベースについての周知方法を検討する。(まどかぴあ図書館) ◆読書週間事業として、「図書館へよう!!」を開催した。集客に苦戦したイベントがあったことから、企画内容を見直し、周知方法についても検討する。(まどかぴあ図書館) ◆児童文学作家による講演会を一般向けに開催した。令和6年度は絵本作家を招いての子ども向け絵本ライブを計画している。(まどかぴあ図書館) ◆読書手帳事業について、令和7年度に予定しているまどかぴあ図書館のシステム更新に合わせた事業の開始を検討する。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	②本の紹介		達成状況	
	◆特集コーナーを利用者の目に留まるように目立つ場所に移動した。今後は特集コーナーの設置に係るデータ等を共有し、特集の入替に要する時間を短縮する。(まどかぴあ図書館) ◆各世代向けの特集コーナーを設けるとともに、コメダ珈琲店への選書支援及び本の貸出を開始した。(まどかぴあ図書館) ◆令和7年度からのブックリストの発行に向けて、他館のブックリストの調査・検討を行った。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	③情報発信の強化		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館のホームページとInstagramで利用案内やイベント情報を発信した。今後は子ども用のホームページ		②期待どおり	

	<p>をより読みやすく改善するとともに、Instagramでより魅力的な情報発信を行い、まどかぴあ図書館の周知力の強化を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆図書館情報誌「パララ」を年6回発行した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆まどかぴあ情報誌「アテナ」及びデジタルサイネージを活用して、毎月まどかぴあ図書館の情報を発信した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆市の情報発信の場として特集コーナーを設置した。双方のPRにもつながるので引き続き連携を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆「わたしと本」というテーマで大野城市の関係者による図書紹介文を掲載した。今後はまどかぴあ図書館において、紹介された本のPRを行う。</p>	
<b>C 評価</b>		
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。	
検討が 必要な事項	◆なし	
<b>A 改善</b>		
改善結果		

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(1) 身近な読書活動の場の充実			
施策の方向性	これまで読書に興味のなかった市民や図書館を利用できなかった市民も、気軽に読書を楽しめる環境の整備に取り組みます。そのため、図書館だけでなく市内の諸施設との連携を深め、地域の読書の場のあり方を見直すとともに、それぞれの魅力を高め、効果的な読書推進を図ります。			
主な取組	①図書館の充実			
	②学校図書室の充実			
	③地域貸出文庫の充実			
	④コミュニティセンターのコーナー充実			
	⑤気軽に読書・調べ学習ができる場の充実			
	⑥移動図書館の活用促進			
	⑦本を届けるサービスの実施			
	⑧イベントの実施			
	⑨電子図書館サービスの導入・運用			
成果指標	市民の図書館の新規利用登録者数	策定時点	目標値(R9)	
		1,458人	1,800人	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	地域貸出文庫の図書資料の充実	年間購入冊数	1,621冊	1,400冊
	コミュニティセンターの図書資料の充実	年間新規蔵書数	200冊	100冊
	移動図書館のイベント等への出張	年間出張回数	-	-
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館の充実		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館の利便性向上のためにブックカートを設置した。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	②学校図書室の充実		達成状況	
	◆学校の図書室に蔵書検索専用のパソコンが無く、児童生徒は蔵書検索を図書委員等に依頼するか、又は分類から本を探さなければならないことが多かった。この状況を改善するため、今後は児童生徒のタブレットからの蔵書検索機能の整備を進める。(教育振興課)		②期待どおり	
	③地域貸出文庫の充実		達成状況	
	◆地域貸出文庫の充実を図るために図書交換会と除籍本の提供を行った。参加する地域貸出文庫が固定化していることから、今後は各文庫への働きかけを強化するとともに、各文庫におけるボランティア活動をサポートする。(まどかぴあ図書館) ◆各公民館の地域貸出文庫に関するホームページを公開した。 ◆持続可能な地域貸出文庫の実現のため、地域貸出文庫の管理・対応業務を指定管理者の業務に追加した。		②期待どおり	

④コミュニティセンターのコーナー充実	達成状況
<p>◆4 か所のコミュニティセンターにおいて、図書コーナーに計200冊の図書を追加した。今後はまどかぴあ図書館の本をコミュニティセンターに設置することについて検討する。(地域行政センター統括課)</p> <p>◆コミュニティセンターの図書コーナーについて15回の周知を行った。今後は読み聞かせ会などのイベントの周知方法について検討する。(地域行政センター統括課)</p> <p>◆コミュニティセンターにおいて、まどかぴあ図書館のイベントに関する掲示を行った。今後はイベント以外についてもコミュニティセンターとまどかぴあ図書館が相互連携・協力が取れる体制を構築する。(地域行政センター統括課)</p>	②期待どおり
⑤気軽に読書・調べ学習ができる場の充実	達成状況
<p>◆心のふるさと館のふるさとラボに歴史・文化書及び複製資料を展示した。(心のふるさと館)</p> <p>◆子どもや保護者がアクセスしやすい施設に図書を設置した。今後は図書の更新等を行う。(こども・若者政策課、子育て支援課、教育振興課)</p> <p>◆「大町公園」及び「ふるかわ公園」内に設置している文庫により、多くの人に読書環境を提供した。(公園街路課)</p> <p>◆椅子の数をコロナ前の状態に戻して調べ学習を支援するとともに、持ち込み学習に使える学習スペースの情報をホームページに掲載した。今後も、まどかぴあ図書館での持ち込み学習防止のための注意掲示を設けつつ、調べ学習に適した環境を整備する。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり
⑥移動図書館の活用促進	達成状況
<p>◆いこいの森中央公園及び北コミュニティセンターからのイベントへの出張依頼があったが、日程が調整できず断念した。ただし、令和6年度に向けて、出張に必要な予算措置を行ったことから、今後は図書館から積極的に提案を行い、移動図書館の活用につなげる。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり
⑦本を届けるサービスの実施	達成状況
<p>◆予約本の郵送サービスを提供したが利用はなかった。利用に向けた登録は数件あったことから、PRを強化して利用を促進する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆令和7年度のまどかぴあ図書館システムの更新に合わせて、コミュニティセンターでの予約本の受取事業を開始できるように調整する。</p> <p>◆コミュニティセンターにおいて、まどかぴあ図書館の本の返却ポストを運用した。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり

	⑧イベントの実施	達成状況
	◆まどかぴあ図書館及びコミュニティセンターでボランティアとの共働による読み聞かせイベント等を実施した。(まどかぴあ図書館、地域行政センター統括課)	②期待どおり
	⑨電子図書館サービスの導入・運用	達成状況
	◆4自治体でしあわせ電子図書館の共同運用を開始した。今後は利用者数の伸び悩みが予想されるため、他の自治体を参考にしつつ、サイトの構成やコンテンツの選定の改善に取り組む。(まどかぴあ図書館) ◆市内の学校にIDを付与し、しあわせ電子図書館の利用を促進したが、その存在や活用方法を理解していない学校が多かった。今後はしあわせ電子図書館の周知を徹底する。(まどかぴあ図書館)	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。	
検討が 必要な事項	◆なし	
A 改善		
改善結果		

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(2) 資料の充実と効率的な活用			
施策の方向性	「大野城まどかぴあ図書館資料収集方針」及び「大野城まどかぴあ図書館資料選定基準」に基づき、各世代のニーズに応じた図書館の資料の充実を図ります。 また、図書館のリサイクル本や団体貸出を活用し、市内各施設の資料の充実に取り組みます。			
主な取組	①資料の充実			
	②団体貸出の促進			
	③図書のリサイクル			
成果指標	図書館の貸出冊数 (※電子図書館の貸出を含む。)	策定時点	目標値(R9)	
		783,794冊	793,000冊	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	図書館でのリクエスト受付	リクエストに対して提供した割合	89.2%	90%以上
主な取組の実施状況及び今後の方針	①資料の充実		達成状況	
	◆購入可能な資料は積極的に購入し、難解で他の利用が見込めない資料等は他図書館から取り寄せた結果、リクエストの約90%に対応することができた。(まどかぴあ図書館) ◆全学校の児童生徒と教職員から図書のリクエストを募集し、予算の範囲内で購入した。(教育振興課) ◆しあわせ電子図書館について、ライセンスの貸出回数上限や期限などを考慮しながらコンテンツを選書した。(まどかぴあ図書館) ◆ふるさと館において、発掘調査報告書や冊子を電子化するとともに、発掘調査報告書以外の資料の電子データをウェブサイトで公開した。今後はウェブサイトでの資料の公開を進めるとともに、令和5年度に寄贈を受けた資料の整理を進める。(心のふるさと館)		②期待どおり	
	②団体貸出の促進		達成状況	
	◆市内の教育機関及び地域団体に図書や備品の貸出を行った。今後もそれぞれのニーズを把握し、図書や備品の充実を図る。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	③図書の再活用		達成状況	
◆年3回除籍資料の配付への参加団体数が年々減少しているものの、市民に除籍資料の配付を行う等の方法により除籍資料を再活用することができた。除籍資料を有効に活用するため、企業や団体への除籍資料の提供について検討する。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり		

C 評価	
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。
検討が 必要な事項	◆なし
A 改善	
改善結果	

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(3) 読書バリアフリーの推進			
施策の方向性	誰もが利用しやすい図書館を目指し、館内設備やバリアフリー資料等の充実、及び支援が必要な人に対するバリアフリーサービス、多文化サービスの拡充を図ります。また、より多くの人のサービス利用を促進するため、周知の強化を図るとともに、サービスを提供・支援する人のスキル向上に取り組んでいきます。			
主な取組	①館内設備の充実			
	②バリアフリー資料の充実			
	③バリアフリーサービスの充実			
	④多文化サービスの充実			
成果指標	バリアフリーサービスの認知度	策定時点	目標値(R9)	
		17.0%	20.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	バリアフリー資料の充実	バリアフリー資料の蔵書数	2,537冊	2,030冊
	外国語コーナーの充実	外国語資料の蔵書数	1,977冊	1,920冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①館内設備の充実		達成状況	
	◆本棚の下段が見つらいとの意見があったことから、立ったままでも本を選べるように傾斜板を設置する方法を検討した。令和6年度に一部の棚に傾斜板を設置する。(まどかぴあ図書館) ◆コロナ対策で停止していた図書検索機の利用を再開した。(まどかぴあ図書館) ◆ブックカート等の各種機器を導入した。今後は、拡大読書器など利用頻度が低い機器についてのPRを積極的に行う。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	②バリアフリー資料の充実		達成状況	
	◆バリアフリー資料を収集するとともに、当該資料の設置場所を目に付きやすい場所に変更した。今後は大人向けのバリアフリー資料を充実させる。(まどかぴあ図書館) ◆福岡県立図書館のサービスを常に把握し、必要な方に県立図書館のサービスを案内できるようにした。(まどかぴあ図書館)		①効果が期待以上	
	③バリアフリーサービスの充実		達成状況	
◆対面朗読の受付を開始したが、希望者がいなかった。対面朗読の経験者が少ないため、研修会に積極的に参加し、希望があった際に対応できる体制を整える。(まどかぴあ図書館) ◆持ち運び型の「拡大読書器」を導入した。今後積極的にPRを行う。(まどかぴあ図書館) ◆大野城市役所所属の手話通訳士の同席を依頼できる体制を整		②期待どおり		

	<p>備したが、希望者がなかった。今後は体制を継続するとともに、PRを積極的に行う。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆点字ボランティアの代表者などが集まる会議に出席し、図書館のバリアフリーサービスを周知した。利用されなかったサービスが多かったので、今後はバリアフリーサービスの情報をボランティア団体と共有し、周知の徹底を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆だれもが楽しめるおはなし会の作り方というテーマで、読書ボランティアを対象にした講座を実施した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆障がい者手帳交付時にまどかぴあ図書館のバリアフリーサービスを周知した。今後も障がい者向けのサービスの周知を継続する。(福祉サービス課)</p>	
	④多文化サービスの充実	
	<p>◆対訳本や学習資料を集めて外国語コーナーを充実させたが、目立ちにくい場所にあるため、今後は棚の設置場所を検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆英語、中国語及び韓国語による利用案内を作成した。翻訳者によって添削されたものを元に再編集する予定である。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆意思表示や対話の助けとなるコミュニケーションボードをカウンターに設置した。今後はコミュニケーションツールについて周知を行う。(まどかぴあ図書館)</p>	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆問題なく実施されている。「バリアフリー資料の充実」については、目標を上回る成果を出すことができている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。	
検討が 必要な事項	◆なし	
A 改善		
改善結果		

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(1) まどかぴあを中心としたネットワークの推進			
施策の方向性	本の専門家である司書へ誰もが気軽に相談できる窓口を設置し、市民及び関係機関へ広く周知を行います。また、市民の読書活動を推進するために、ICTの活用等、図書館と学校、地域の連携のあり方を検討していきます。			
主な取組	①相談窓口の充実			
	②時代に即した連携のあり方の検討			
成果指標	相談窓口・レファレンス 利用者満足度	策定時点	目標値(R9)	
		-	80.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	相談窓口及びレファレンスサービスの活用促進	年間受付件数	9,320件	6,000件
主な取組の実施状況及び今後の方針	①相談窓口の充実		達成状況	
	◆館内レファレンス、出前講座等を行った。今後は、団体への利用案内にも相談窓口について記載するなど、周知活動を行う。 (まどかぴあ図書館) ◆児童カウンターにできるだけ職員を配置し、読書相談等に対応するとともに、ボランティアからの相談の受付体制を強化するために、ボランティアに関する情報を職員間で共有した。(まどかぴあ図書館) ◆市内関係施設への団体貸出と除籍本の提供を実施した。(まどかぴあ図書館) ◆団体向け利用案内を送付し、6団体の新規登録があった。(まどかぴあ図書館) ◆地域貸出文庫に対し、本の整理や除籍、ブックカバーの貼り方の講座を開催した。(まどかぴあ図書館)		①効果が期待以上	
	②時代に即した連携のあり方の検討		達成状況	
	◆学校において、まどかぴあ図書館からの貸出を受けることで、まどかぴあ図書館の資料を効率的に運用した。今後は学校の図書司書を通じた連携に加え、タブレットを活用した新たな連携方法について検討する。(教育振興課)		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。「相談窓口及びレファレンスサービスの活用促進」については、目標を上回る成果を出すことができている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。			
検討が必要な事項	◆なし			
A 改善				



P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(2) 読書活動を支える人の活動の活性化			
施策の方向性	<p>学校及び保育所(園)・幼稚園等において子どもたちが、充実した読書活動が行えるように、活動を支える人材のスキルの向上を図ります。</p> <p>また、読書ボランティアについては、人材の発掘及び育成を継続するとともに、活動の場の創出のほか、活動が縮小している団体等を支援する体制づくりを行い、ボランティアの活動の活性化に取り組みます。</p>			
主な取組	①図書館司書のスキルアップ			
	②学校司書活動の充実			
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援			
	④読書ボランティアの育成			
	⑤読書ボランティア人材の発掘			
	⑥読書ボランティア活動の活性化			
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり			
成果指標	各種読書ボランティア講座の実施	策定時点	目標値(R9)	
		520人	530人	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	各種読書ボランティア講座の実施	年間実施回数	8回	6回
	読書ボランティア情報交換会の実施	年間実施回数	1回	1回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館司書のスキルアップ		達成状況	
	◆司書の能力向上のため、様々な研修に参加した。全員の参加はできなかったが、報告書等で内容を共有した。(まどかぴあ図書館)		②期待どおり	
	②学校司書活動の充実		達成状況	
	<p>◆学校の図書司書について、司書研修を1回開催した。今後は、研修会の開催回数を増やすことを検討する。(教育振興課)</p> <p>◆まどかぴあ図書館・小中学校図書室連携部会において、コミュニティ文化課から図書司書に本計画を周知した。</p> <p>◆学校司書等のスキルアップに向けて、県からの研修や講座の情報を随時学校に通知した。(教育振興課)</p> <p>◆まどかぴあ図書館と小中学校の連携部会を開催し、まどかぴあ図書館と学校の図書司書との意見交換や情報共有を行うとともに、まどかぴあ図書館が読書週間に発行する情報誌には学校司書のおすすめ本を掲載した。学校司書の要望により、今後はまどかぴあ図書館との連携部会を縮小し、市と学校司書との情報交換の時間を増やす。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆学校ボランティアに講座案内を送るとともに、選書相談や備品貸出を行った。学校ごとに利用状況に偏りがあったため、PRを</p>		②期待どおり	

	強化し、利用促進に繋げる。(まどかぴあ図書館)	
	③保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援	達成状況
	◆日程などの理由により、ほとんどの保育園等が研修に参加できなかった。今後は研修の実施方法について検討するとともに、保育園等の積極的な参加を促す。(子育て支援課)	②期待どおり
	④読書ボランティアの育成	達成状況
	◆3種の読み聞かせボランティア向けの講座を実施したところ、受講希望者が多く満足度も高かった。(まどかぴあ図書館) ◆全ての講座を対面により実施した。ボランティア向けの講座は実技等を含むことが多く、対面が望ましいものが多いが、今後はオンラインで伝えられる内容を検討する。(まどかぴあ図書館) ◆ボランティア向けの講座やイベントについて、ボランティアが属する各施設にチラシを送付するとともに、まどかぴあ図書館のホームページ等に掲載した。(まどかぴあ図書館)	②期待どおり
	⑤読書ボランティア人材の発掘	達成状況
	◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」を配布するとともに、ホームページに掲載した。 ◆読書ボランティア募集のために、読み聞かせボランティア入門講座での呼びかけと情報誌「アテナ」への読書ボランティア募集案内の掲載を行った。今後は新たに SNS を活用する。(まどかぴあ図書館)	②期待どおり
	⑥読書ボランティア活動の活性化	達成状況
	◆読書ボランティアの募集情報「読書ボランティアへのおさそい」により読書ボランティア団体を周知するとともに、読書ボランティアによるコミュニティセンターでの絵本のおはなし会を企画した。 ◆読書ボランティア団体の垣根を越えて人材不足等の問題に対応するため、読書ボランティアネットワークの創設について検討した。令和6年度は、読書ボランティアネットワークの創設に向けてワークショップを開催する。 ◆読み聞かせ等を実施した読書ボランティアに対し、まどぷらポイントを付与した。 ◆読書ボランティアに対し、本計画の策定を周知するための文書を送付した。	②期待どおり
	⑦読書ボランティアの交流の場と協力体制づくり	達成状況
	◆読書ボランティア同士がそれぞれの意見や活動状況、課題等を共有できる情報交換の場として読書ボランティア情報交換会を開催した。 ◆読書ボランティア団体の垣根を越えて人材不足等の問題に対	②期待どおり

	<p>応するため、読書ボランティア同士のつながりについて考える情報交換会を実施した。令和6年度は、読書ボランティアネットワークの創設に向けてワークショップを開催する。</p>	
C 評価		
推進委員会 評価	◆「保育士・幼稚園教諭等のスキルアップ支援」について、保育士等が研修に参加できる環境を整えてほしい。	
検討が 必要な事項	◆保育士等が研修に参加できる環境の整備	
A 改善		
改善結果	◆研修の実施日程、方法等を検討し、保育士等が研修に参加できる環境を整える。	

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(3) 市民交流の創出			
施策の方向性	読書を通じて、人と人との交流が生まれる取組を実施していきます。			
主な取組	①市民が参加できるイベント等の実施			
成果指標	イベントの参加者数	策定時点	目標値(R9)	
		4,828人	6,320人	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	イベントの実施	年間実施回数	229回	84回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①市民が参加できるイベント等の実施		達成状況	
	<p>◆様々な世代向けにイベントを開催し、市民の交流の場となった。今後は関係施設や関係団体と連携したイベントを企画する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆関連団体協力により、市民から集まったペットボトルキャップの数に応じて、コミュニティセンターに絵本を寄贈してもらったイベントを実施したほか、読書週間に心のふるさと館とまどかぴあ図書館との連携によるイベントを実施した。今後は関係施設間の連携をさらに強化し、新たなイベントを検討する。(地域行政センター統括課、まどかぴあ図書館)</p>		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。			
検討が必要な事項	◆なし			
A 改善				
改善結果				